

# 競技注意事項

## 【競技注意事項（実業団・マスターズ共通）】

同時進行するフィールド競技では、実業団女子、実業団男子、マスターズ女子、マスターズ男子の順でプログラム記載順に試技を行う。投てき競技は、マスターズ、実業団ともに最高記録のみ計測する。（同記録の場合は、同順位とする。）

## 【競技注意事項（実業団）】

### 1. 競技規則

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス「【第4版】競技会開催について（2022年5月2日）」に基づいて実施する。

### 2. 競技者案内所（T I C）

競技者案内所（T I C）を競技場正面入口1階ロビーに置き、次の業務を行う。

- (1) 各種問い合わせ、審判長への抗議・上訴の受付、落とし物の取り扱いなど。
- (2) プログラム販売（1冊500円）。
- (3) 競技に持ち込んで使用するやりの受付と返却。
- (4) マスクの販売（1つ100円）競技者受付。受付の際にてプログラムとナンバーカードを配布する。
- (5) プログラムに記載ミス（氏名、フリガナ、所属等）に関するプログラム訂正用紙（T I Cで受け取る。）の受付。

### 3. 招集

- (1) 招集所は、正面玄関左側の、器具庫で行う。
- (2) 各種目の招集開始および完了時刻は、プログラム競技日程記載のとおりとする。
- (3) 競技場所への入場は招集所のみとする
- (4) 選手招集の際、係員により、アスリートビブスがついていることを確認した上で、シューズ・商標・競技注意事項6(4)②に該当する持ち物等のチェックを行う。また、腰ナンバー標識の配布を行う。
- (5) 代理人による招集は認めない。
- (6) リレーのオーダー用紙は、受付時に配布し、招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出すること。
- (7) 欠場する場合は、本人または代理人が必ず競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を棄権したものとみなす。
- (8) 競技場内への入退場は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行う。また、出場する選手以外は競技場内に入らないこと。
- (9) 棒高跳については、招集時に「アップライト申告書」を提出すること。

### 4. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは、主催者が用意したものを、そのままの大きさと、胸・背部に固定すること。ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。（TR5.7/5.8/5.9）
- (2) トラック競技者は、腰ナンバー標識をパンツ右側の上部やや後ろにつけること。このカードは競技者係（選手招集所）で受け取り、フィニッシュ後は返却する必要はない。ナンバー標識を受け取っただけでは、招集完了とならないので注意すること。

### 5. 競技方法

#### (1) トラック競技

- ① 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- ② トラック長距離種目において競技日程を著しく遅らせる可能性がある場合は、審判長の判断で競技を中止させることがある。
- ③ リレーオーダー用紙は、選手受付時にT I Cで配布する。オーダー用紙は招集完了の1時間前までに選手招集所の競技者係に提出すること。
- ④ リレー競走の競技者は、大きさが最大50mm×400mmの粘着テープ（マーカー）を1箇所、自身のレーン内に貼ることができる。マーカーは競技者が用意する。次走者のつけたマーカーは、走り終わった前走者が必ずはがすこと。

# 競技注意事項

## (2) フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②三段跳の踏切板は、選手の参加状況によって審判長が決定する。
- ③跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意した規定のマーカーを 2 個まで置くことができる。ただし、走高跳は競技者が準備したマーカーを助走路内に置くこととする。
- ④砲丸投・円盤投・ハンマー投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを 1 つだけ置くことができる。これらのその撤去は使用した競技者が責任をもって行うこと。
- ⑤走高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の 1 人となるまでは以下のとおりとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更することもある。

種目	練習の高さ	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70/1m85/2m00	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	・・・以後3cmずつ

※第 1 位決定のためのバーの上げ下げは、2cm とする。

## (3) 抗議と上訴

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内）に、その種目に出場した競技者自身または代理人が T I C まで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、 Jury に上訴することができる。その手続きは、「上訴申立書」を記入し預託金（1 万円）を添え、T I C まで申し出ること。

## (4) 助力

- ①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。（コーチング、トイレ等）
- ②ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーやスマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③コーチ等からの助言は競技場区域外（スタンド）のコーチングエリアのみとする。その際、そこで録画した映像を見せることは助力にはならないが、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

## 6. 表彰について

- ①各種目優勝者には、メダルと賞状、第 2 位から第 3 位には賞状を授与する。
- ②第 3 位までの入賞者は表彰を行うので、記録アナウンス後速やかに総合受付前に集合すること。
- ③本大会において最優秀と認めた 1 名に最優秀選手として賞状と記念品を授与する。

## 7. その他

- (1) 競技で使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、やり投用やりは、個人所有のものを使用できる。  
やりの持ち込みについては、招集完了時刻の 1 時間前までに T I C に持参し、返却も T I C で行う。やりの持ち込み希望者は、招集完了時刻の 1 時間前までに T I C に持参し検査を受けること。検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。なお、競技終了後に T I C で返却する。(TR32. 2[国内])。
- (2) スパイクピンの長さは 9 mm 以内とし、走高跳・やり投は 12 mm 以内とする。
- (3) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。
- (4) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- (5) スタンドからの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認めない。また、撮影禁止エリアでの撮影は一切できない。
- (6) ウォームアップは、駐車場横の「第 2 グランド」を使用すること。
- (7) 競技場所からの退場は、第 1 ゲート（フィニッシュライン）横のみとする。競技終了後、指定された動線を通り、手洗い・洗顔等を済ませてから退場すること。